

第2分科会「青少年の健全育成」

〔討議の視点〕

インターネットや携帯電話等の情報技術を活用した犯罪や薬物乱用等から青少年を守る取組について

〔討議の柱〕

- 1 子どもを有害サイト等から守るための組織的な取組はどうあればよいか。
- 2 子どもとインターネットの現状とメディア教育はどうあればよいか。

〔事例発表者〕	1 佐賀県特定非営利活動法人ITサポートさが事務局長	浴本 信子
	2 鹿児島県霧島市メディアセンター指導主事	平國 弘明
〔助言者〕	鹿児島県教育庁社会教育課主任社会教育主事兼社会教育係長	穂園 正幸
〔司会者〕	佐賀県文化・スポーツ部まなび課副課長	関 弘紹
〔記録者〕	宮崎県教育庁南部教育事務所家庭・地域教育担当社会教育主事	衛藤 慎二
	宮崎県教育庁中部教育事務所家庭・地域教育担当社会教育主事	長谷川雅一
〔分科会責任者〕	宮崎県社会教育委員連絡協議会理事	坂元 和雄
〔会場総括〕	宮崎県宮崎地区社会教育委員連絡協議会委員	長 秋美
〔分科会事務局〕	宮崎県教育庁生涯学習課課長補佐	恵利 修二



発表要旨

1 発表1「佐賀県における産学官民連携による情報モラル教育」

～特定非営利活動法人ITサポートさがの実践～

特定非営利活動法人ITサポートさが事務局長 浴本 信子

「ITサポートさが」は、佐賀県におけるデジタルデバイトの解消と安全・安心なインターネット社会の実現を目指しているNPO法人である。

活動内容は、情報モラル啓発劇、ポスターコンクール、相談窓口の設置、ネットパトロールなどがある。

情報モラル啓発劇では、劇を通して疑似体験することによって、インターネットに関する正しい知識を楽しく学ぶことができるようにしている。また、多くの賞を設定した「ネットの安全安心ポスターコンクール」を開催し、賞をもらえる喜びを味わわせるようにしている。

講演会も開催し、子どもには、掲示板に一度書き込みをしたら一生消せないことを伝え、保護者には、ネットのことを共通の話題にできるよう情報の提供を行っている。

課題として、行政の支援が不可欠であること、意識が低く参加しない人に参加を促すことなどがある。

2 発表2「インターネットや携帯電話等を利用した犯罪や危険から青少年を守る取組」

～心のスキマが生む、身近な危険と罠から子どもを守ろう～

鹿児島県霧島市メディアセンター指導主事 平國 弘明

霧島市メディアセンターは、生涯学習の視点に立ち、教育メディアに関する学習を行う社会教育施設である。

活動内容は、主に市民、教職員、PTAを対象に、情報モラルやセキュリティーについての研修会の実施である。

研修では、高齢者には事例を基にセキュリティーの必要性、教職員には情報モラルの年間指導計画への位置付け、PTAにはフィルタリングの実践化を指導している。

特に、PTAに対して、携帯を買い与えるときには、フィルタリングをかけること、夜9時以降は使用しないこと、食事時には扱わないことなどを約束することをお願いしている。

その他、警察と連携し、県内外のネット犯罪の情報収集に努めている。どこで何が起ってもおかしくないという意識が必要である。

質疑応答

1 発表1について

- Q 子どもに有害なサイトは、削除できないのか。〔佐賀県〕
- A アダルト、薬物、自殺サイトが存在し、削除可能なケースと不可能なケースがあるが、掲示板については削除依頼している。大切なのは、未成年に対しては、フィルタリングをかけて未然にアクセスできないようにすることである。〔発表者〕
- Q 配付したKidsさが公演のDVDは、学校でどのように活用されているのか。〔宮崎県〕
- A 配付後の活用状況については把握していない。今後配付するときには、活用しやすいように解説書を作成したいと考えている。〔発表者〕
- Q 高齢者のネット被害未然防止など、県民に対して情報モラル意識の醸成は行っているのか。〔宮崎県〕
- A 孫が祖父母の携帯を借用し、一部無料のゲームから有料サイトに接続した結果、代金の請求があった事例を紹介するなどして、高齢者の被害未然防止に取り組んでいる。〔発表者〕

2 発表2について

- Q 霧島市メディアセンターは、子どもを中心にしながら、保護者や一般の方々を中心に情報モラルやセキュリティー等についての啓発を行い子どもを守る取組を行っているが、子どもに対する情報リテラシー教育の現状はどうなっているのか。〔宮崎県〕
- A 霧島市メディアセンターは、教育メディアに対する幅広い学習を行う社会教育施設であり、情報モラル等についての啓発は「教育の情報化」を支援する一部の取組であるとともに市民（教職員も含む）を対象とするため、直接、子どもを対象に行う機会は少ない。そこで、学校の校内研修等に出向き、子どもを直接指導する教職員の情報モラル指導のリテラシーを高めるように努めている。〔発表者〕
- Q 霧島市において出会い系サイト等による被害は激減した背景や理由等について分析したものがあれば教えてほしい。〔福岡県〕
- A 統計的に分析したものはないが、要因として考えられるのは、鹿児島県の指定を受け、継続的に情報モラル教育に取り組んでいる学校等の研修会に市内の先生方が積極的に参加していることが、成果として広がり表れているのではないかと考えている。〔発表者〕

研究協議

1 討議の柱1について

- ・佐世保市では、「メディア安全指導員」として、現在10名が委嘱を受けている。業務は、保護者の立場に立って、妊婦から小中高生や保護者までを対象に、メディアについての正しい知識の普及に努めている。しかし、「関係がない」「我が子に限って」という保護者に話を聞いてもらう機会をつくるのが難しい。〔長崎県〕
- ・被差別部落を中傷するような差別に関する書き込みがあり、隠語を用いる悪質なものであった。サイトの運営会社に削除を要請することはもちろんであるが、人権を大切にするとする視点で、法律の制定を国に要請する必要性を感じている。〔宮崎県〕
- ・学校で加害者に対して生徒指導を行うと、「そんなつもりはなかった」と言う子どもや、「子どもがそんなことをしているとは」と言う保護者に出会う。加害者にも被害者にもなり得る可能性があることを意識させる必要がある。また、大人も積極的に情報を得る努力をしなければならない。〔発表者〕

2 討議の柱2について

- ・子どもがメディアに依存している実態があり、子どもの方がメディアに精通しているが、大人からアプローチすることが大切である。〔大分県〕
- ・子どもの前に大人が姿勢を正さなければならない。社会のルールを守らない大人たちの教育の難しさがある。交通ルールは目に見えるが、ネットは目に見えないから難しいが、まず、目に見えることから大人の教育をしていく必要がある。〔宮崎県〕
- ・大人がメディアに出遅れ、子どもたちは実体験が不足しているが、子どもに直接かかわることができるのは、保護者と教員であるから、実体験とモラルの指導を合わせて行わなければならない。〔福岡県〕

3 全体的に

- ・情報は子どもたちには追いつかないので、追いつこうとするのではなく、伴走する気持ちをもつことが大切である。例えば、何かを一緒にやる時間をつくるなどして、子どもに目を向けていることを認識させるようにしたい。大人は指導者ではなく伴走でありたい。子どもに多くかかわるのは、学校と家庭なので、親は学校に依存するのではなく、また、学校は家庭に依存するのではなく連携していく必要がある。〔発表者〕

まとめ

1 発表1について

- ・佐賀県の産学官民連携による情報モラル教育の推進メンバーを佐賀大学、市民活動団体、教職員、コンピュータ関連企業など様々な異業種によりメンバーを構成し活動していることがすばらしい。
- ・県警本部、佐賀県中学校生徒指導連盟、放課後児童クラブ連絡会、佐賀市PTA連合会等の団体等との連携を行っているという説明があったが、このような地域の団体との連携の視点も大切である。
- ・産学官民の連携ができており、皆様方の参考になったと思う。

2 発表2について

- ・多くの市民に対して教育メディアに対する幅広い学習に関する啓発活動、学習機会の提供を行っている。特に60歳からのパソコン講座など高齢者に対する情報提供の取組等も参考になる。
- ・霧島市におけるインターネットや携帯電話等の利用状況やその利用による被害状況など小中学校の実態把握・分析ができていることがすばらしい。
- ・警察署との行き来を積極的に行い、情報の共有ができていることがすばらしい。

3 全体について

- ・インターネットや携帯電話等の情報技術を活用した犯罪や薬物の乱用等から青少年を守るためには、まずインターネットや携帯電話等の情報技術については、子どもたちが一歩進んでおり、大人は遅れているという認識をもち、実態把握や積極的な情報収集をしっかりと行い対策を行う必要がある。例えば携帯を頻繁に利用し、いわゆる携帯依存が高いほど心に悪影響があるという傾向がある。
- ・体験活動を多く取り入れた学びの機会を設けるほど、子どもの規範意識が高まり、社会性が身に付いているという調査結果が出ている。実体験を基にした情報モラル等の教育が大切になってくる。
- ・最後にベクトルは子ども向きにということである。インターネットや携帯電話等の情報技術を活用した犯罪や薬物の乱用等はいつでも、どこでも起こり得るという認識をもつことが大切である。そして子どもたちを中心に、学校・家庭・地域住民、様々な団体等が連携・協力した事業を見届けまでしっかりと行い、青少年の健全育成に努めてもらいたい。